

クロスウェイブ、オフィスビルを対象とした通信 インフラ整備に関して三井不動産と協定締結

2000年1月31日

株式会社クロスウェイブ コミュニケーションズ

株式会社クロスウェイブ コミュニケーションズ(以下クロスウェイブ、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 幸一)は1月28日、他の通信事業者6グループとともに、三井不動産株式会社の管理する全国300棟のオフィスビルを対象とした通信インフラ整備に関する基本協定を締結いたしました。

今回の協定は、霞が関ビルなど、三井不動産が運営管理している国内すべてのビルを対象に、協定参加会社の通信回線の引き込みや無線アンテナの設置を行っていくものです。本協定により、クロスウェイブは三井不動産と協働のうえ、グローバル企業やIT技術を活用するテナント企業のニーズに対応しうる最先端の情報インフラを構築し、高度化していく企業のデータ通信ニーズに合致した新世代型通信サービスを提案していく予定です。

クロスウェイブでは、今後も新世代型ネットワークを活用し、新しい情報通信時代をリードしていきます。

以上
